

ぶんかざいまるちなび

文化財

知

ナビ

No.60

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご利用ください。

北海道の国宝を知ろう！

「国宝」とは、国が重要と定めた有形文化財である重要文化財のうち、世界文化の^{けんち}見地から特に価値の高いものが指定されます。

今回は、北海道に現在2つある国宝について紹介します。

《北海道^{しらね}白滝遺跡群出土品》

まる知ナビ第59号（令和5年1月13日発行）で紹介したこの文化財は、令和4年11月18日に文化審議会が文部科学大臣へ^{とうしん}答申した後、**令和5年6月27日に正式に国宝に指定されました！**

^{こくようせき}黒曜石を加工して作られた多様な石器などは全1,965点もの数であり、約15,000～30,000年前のものであることから、**日本で最も古い国宝**となりました。

後期旧石器時代前半期から後半期に至る石器の組み合わせや加工技術の移り変わりをはっきりと追うことができるもので、日本の旧石器時代遺跡出土遺物の中でも、内容・質量ともに群を抜くものです。

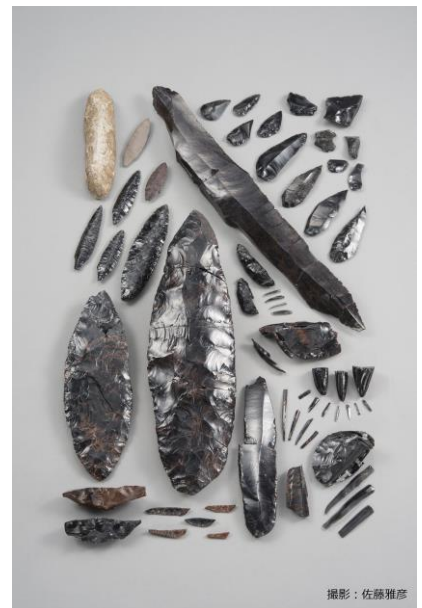
これらの出土品は、遠軽町埋蔵文化財センターで公開されています。

遠軽町埋蔵文化財センター

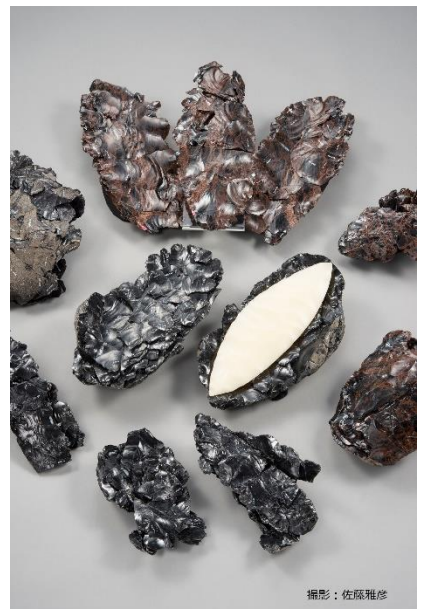
住所：紋別郡遠軽町白滝 138-1

電話：0158-48-2213

ホームページ：

<https://engaru.jp/tourism/page.php?id=476>

撮影：佐藤雅彦



撮影：佐藤雅彦

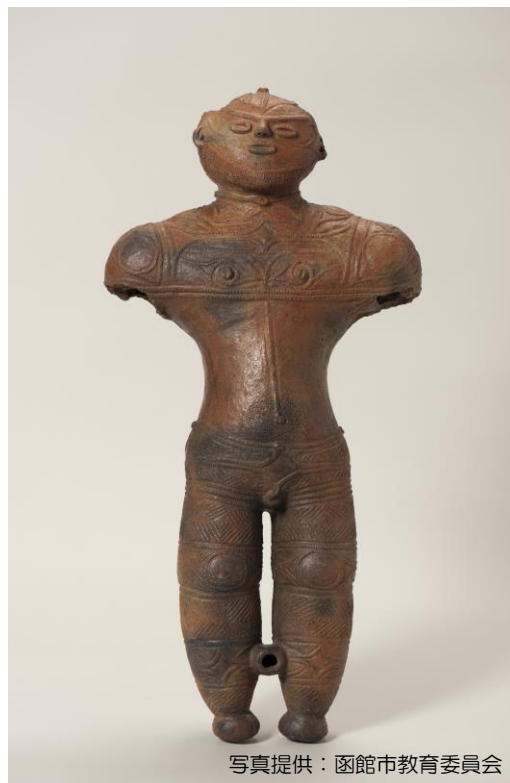
《土偶(北海道函館市著保内野遺跡出土)》

函館市の著保内野遺跡から出土したこの土偶は、平成19年6月8日に国宝に指定されました。

頭部の突起や両腕は欠けていますが、その他はほぼ残存し、頭部から脚先まで全身が精緻につくられています。顎の部分には黒色の、胴部には赤色の顔料が塗られていた痕跡もあります。

この土偶は、中空土偶(中が空洞に作られている土偶)として現存しているもののうち最大で、かつ、状態が良好であることから、その出土状態を知ることができ、当時の信仰や祭祀の実態を明らかにする上で欠かせない、非常に貴重な資料です。

この土偶は、函館市縄文文化交流センターで展示されています。



写真提供：函館市教育委員会

函館市縄文文化交流センター

住所：函館市臼尻町 551-1

電話：0138-25-2030

ホームページ：<http://www.hjcc.jp/>



北海道の文化財について

北海道教育委員会文化財・博物館課では、国宝を含む、北海道の文化財の情報をホームページに掲載しています。

まる知ナビのバックナンバーも掲載していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/a0003/b0001/>



また、遺跡から出土した文化財が展示・公開されている北海道内の博物館・資料館の一覧も掲載しています。

身近にある博物館・資料館で、ぜひ文化財を実際に見てみてください。

<https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/19museum-guide.html>



文化財ニュースレター 文化財まる知ナビ No.60

発行 令和5年7月11日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

【お問い合わせはこちらへ】 電話 011-231-4111 (内線) 35-618 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp